

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年2月13日

**【四半期会計期間】** 第4期第3四半期(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

**【会社名】** ジューテックホールディングス株式会社

**【英訳名】** JUTEC Holdings Corporation

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 足立 建一郎

**【本店の所在の場所】** 東京都港区芝五丁目26番24号

**【電話番号】** 03-5765-6600

**【事務連絡者氏名】** 執行役員財務経理部長 岩谷 昌弘

**【最寄りの連絡場所】** 東京都港区芝五丁目26番24号

**【電話番号】** 03-5765-6600

**【事務連絡者氏名】** 執行役員財務経理部長 岩谷 昌弘

**【縦覧に供する場所】** 株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第3期 第3四半期 連結累計期間		第4期 第3四半期 連結累計期間		第3期	
		自 至	平成23年4月1日 平成23年12月31日	自 至	平成24年4月1日 平成24年12月31日	自 至	平成23年4月1日 平成24年3月31日
売上高	(百万円)		102,084		114,326		134,746
経常利益	(百万円)		838		1,423		1,429
四半期(当期)純利益	(百万円)		571		755		1,002
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)		453		713		1,026
純資産額	(百万円)		6,399		7,540		6,972
総資産額	(百万円)		60,904		67,500		55,297
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)		48.00		63.39		84.13
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		10.4		11.2		12.5

回次		第3期 第3四半期 連結会計期間		第4期 第3四半期 連結会計期間	
		自 至	平成23年10月1日 平成23年12月31日	自 至	平成24年10月1日 平成24年12月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)		12.77		30.54

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容に、重要な変更はありません。

また、平成24年7月2日付で株式会社グリーンハウザーの全株式を取得し、連結子会社といたしました。

なお、第1四半期連結会計期間より、全セグメントに占める「住宅資材販売」事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景に、堅調な推移となりましたが、欧州における財政不安の長期化や新興国経済の成長鈍化など、景気の下振れリスクは依然として存在しており、先行き不透明な状況は継続しております。

当住宅関連業界におきましては、省エネ住宅の普及に対する政府施策や、住宅ローン金利の低下などが下支えとなり、新設住宅着工戸数は多少の振れはあるものの、前年同期を上回る水準での推移となるなど、住宅資材需要は、緩やかながらも持ち直しの動きとなりました。

このような環境の中で当社グループは、引き続き太陽光発電システムをはじめとした市場ニーズの高い環境配慮商品や注力商品に掲げております合板や木材の拡販に努めました。また、平成24年7月には仙台地域を中心に東日本を事業基盤とする株式会社グリーンハウザーの全株式を取得し、同地域における営業力の強化を図ったほか、平成24年10月には東京ビックサイトにおいて展示即売会を開催し、当社グループの最大市場である首都圏における需要の取り込みを行うなど、地域に密着した営業活動に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、114,326百万円（前年同期比12.0%増）、営業利益が1,104百万円（前年同期比98.4%増）、経常利益が1,423百万円（前年同期比69.7%増）となりました。また、四半期純利益については、755百万円（前年同期比32.1%増）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比して12,202百万円増加の67,500百万円となりました。これは主として、現金及び預金が1,498百万円、受取手形及び売掛金が8,341百万円及び土地が1,298百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比して11,634百万円増加の59,959百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が6,423百万円及び短期借入金5,150百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比して568百万円増加の7,540百万円となりました。これは主として、利益剰余金が671百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末から1.3ポイント減少の11.2%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 従業員数

平成24年7月2日付で株式取得により株式会社グリーンハウザーを連結子会社としたことなどにより、当第3四半期連結会計期間末における当社グループ（当社及び連結子会社）の従業員数は、前連結会計年度末に比して194名増加の1,021名となりました。

(6) 仕入、受注及び販売の実績

当第3四半期連結累計期間において、仕入、受注及び販売の実績に著しい変動はありません。

(7) 主要な設備

当第3四半期連結累計期間において、新たに確定した主要な設備の新設、除却等の計画等は以下のとおりです。なお、前連結会計年度末において計画中であった主要な設備の新設、除却等はありません。

主要な設備の取得

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資金額及び 投資予定金額 (百万円)	取得年月及び 取得予定年月
(株)ジューテック	(新)福岡営業所 (福岡市博多区)	住宅資材販売	土地	309	平成24年9月
			建物・倉庫	280	平成25年7月

主要な設備の売却

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	帳簿価額 (百万円)	売却年月
(株)ジューテック	東神奈川ビル (横浜市神奈川区)	全社(共通) 遊休不動産	土地・建物	173	平成24年7月

平成24年7月2日付で株式取得により株式会社グリーンハウザーを連結子会社としたことにより、以下の設備が当社グループの主要な設備となりました。その設備の状況は、次のとおりであります。

平成24年12月31日現在

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の 内容	帳簿価額(百万円)					従業員数 (名)	
				建物 及び 構築物	機械装置 及び 運搬具	土地 (面積㎡)	リース 資産	その他		合計
(株)グリーンハウザー	本社他 (仙台市宮城野区)	住宅資材 販売	建物・ 倉庫	123	0	508 (11,572.21)	9	9	650	64 〔5〕
(株)グリーンハウザー	新潟支店 (新潟県北蒲原郡聖籠町)	住宅資材 販売	建物・ 倉庫	20	0	251 (17,288.00)	0	0	272	7 〔 〕
(株)グリーンハウザー	大衡事業所 (宮城県黒川郡大衡村)	住宅資材 販売	建物・ 工場	104	32	187 (23,031.11)	4	2	331	24 〔7〕

- (注) 1 帳簿価額の「その他」には、無形固定資産を含めております。  
 2 上記金額は帳簿価額であり、消費税等は含めておりません。  
 3 従業員数欄の〔外書〕は、臨時従業員であります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	47,000,000
計	47,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,971,350	11,971,350	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株 であります。
計	11,971,350	11,971,350		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年12月31日		11,971,350		850		294

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 56,600		
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,905,700	119,057	
単元未満株式	普通株式 9,050		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	11,971,350		
総株主の議決権		119,057	

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式77株が含まれております。

2 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ジューテック ホールディングス株式会社	東京都港区芝五丁目26-24	56,600		56,600	0.47
計		56,600		56,600	0.47

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,505	11,003
受取手形及び売掛金	29,544 <sub>2</sub>	37,886 <sub>2</sub>
たな卸資産	2,345	3,293
繰延税金資産	239	173
その他	2,023	1,629
貸倒引当金	866	881
流動資産合計	42,791	53,105
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,950	9,248
その他	1,702	2,109
有形固定資産合計	9,653	11,358
無形固定資産	269	397
投資その他の資産		
投資有価証券	1,288	1,259
その他	2,419	2,560
貸倒引当金	1,124	1,179
投資その他の資産合計	2,582	2,639
固定資産合計	12,505	14,395
資産合計	55,297	67,500



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 38,922	2 45,346
短期借入金	1,400	6,550
1年内償還予定の社債	160	160
1年内返済予定の長期借入金	1,275	751
未払法人税等	372	496
引当金	507	294
その他	1,201	1,601
流動負債合計	43,838	55,199
固定負債		
社債	380	300
長期借入金	2,004	2,276
繰延税金負債	605	582
引当金	346	433
その他	1,150	1,167
固定負債合計	4,486	4,759
負債合計	48,325	59,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	850	850
資本剰余金	294	294
利益剰余金	5,480	6,152
自己株式	14	14
株主資本合計	6,610	7,281
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	297	249
繰延ヘッジ損益	-	2
その他の包括利益累計額合計	297	252
少数株主持分	64	6
純資産合計	6,972	7,540
負債純資産合計	55,297	67,500

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	102,084	114,326
売上原価	93,187	103,872
売上総利益	8,896	10,453
販売費及び一般管理費	8,339	9,349
営業利益	556	1,104
営業外収益		
受取利息	10	9
受取配当金	26	29
仕入割引	270	308
不動産賃貸料	120	107
その他	132	157
営業外収益合計	560	612
営業外費用		
支払利息	79	71
手形売却損	13	13
売上割引	172	185
その他	12	24
営業外費用合計	278	294
経常利益	838	1,423
特別利益		
固定資産売却益	3	90
負ののれん発生益	-	24
災害による損失戻入益	88	-
特別利益合計	91	115
特別損失		
減損損失	23	5
固定資産除却損	-	14
固定資産売却損	-	1
特別損失合計	23	21
税金等調整前四半期純利益	907	1,516
法人税、住民税及び事業税	226	651
法人税等調整額	107	106
法人税等合計	333	757
少数株主損益調整前四半期純利益	573	758
少数株主利益	1	3
四半期純利益	571	755

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	573	758
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	122	47
繰延ヘッジ損益	2	2
その他の包括利益合計	120	45
四半期包括利益	453	713
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	451	710
少数株主に係る四半期包括利益	1	3

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	
連結の範囲の重要な変更	
第1四半期連結会計期間より、新たに子会社となった静岡ベニヤ株式会社を連結の範囲に含めております。 また、第2四半期連結会計期間より、新たに子会社となった株式会社グリーンハウザーを連結の範囲に含めておりますが、当該連結の範囲の変更は、当四半期連結会計期間の属する連結会計年度の連結財務諸表に重要な影響を与える見込みであります。	
なお、株式会社グリーンハウザーの平成24年3月期の業績の概要は以下のとおりであります。	
売上高	12,231百万円
経常利益	320百万円
当期純利益	290百万円
純資産額	456百万円
総資産額	5,580百万円

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	
当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 これによる損益に与える影響は、軽微であります。	

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形裏書譲渡高	12百万円	1百万円

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形	244百万円	313百万円
支払手形	123 "	130 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
減価償却費	157百万円	265百万円
のれんの償却額		17 "
負ののれんの償却額	4 "	6 "

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	47	4	平成23年3月31日	平成23年6月30日
平成23年10月24日 取締役会	普通株式	利益剰余金	35	3	平成23年9月30日	平成23年11月30日

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの  
 該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	47	4	平成24年3月31日	平成24年6月29日
平成24年11月5日 取締役会	普通株式	利益剰余金	35	3	平成24年9月30日	平成24年11月30日

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの  
 該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注 3)
	住宅資材 販売	物流	計				
売上高							
外部顧客への売上高	100,776	293	101,070	1,013	102,084		102,084
セグメント間の内部売上高 又は振替高	152	292	445	26	471	471	
計	100,929	586	101,515	1,040	102,555	471	102,084
セグメント利益又は損失( )	593	13	606	38	567	10	556

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建築請負業、マンションリフォーム業、情報システムの賃貸及び保険代理店業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 10百万円には、セグメント間取引消去26百万円、当社と報告セグメント等との内部取引消去18百万円及び報告セグメントに帰属しない全社費用55百万円等が含まれております。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「住宅資材販売」セグメントにて、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである事業所について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において23百万円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当社グループは、全セグメントに占める「住宅資材販売」事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいため記載を省略しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、「住宅資材販売」事業と「物流」事業の2つを報告セグメントとしておりましたが、「住宅資材販売」事業の割合が高くなったため、セグメント情報の記載を省略しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当社グループは、全セグメントに占める「住宅資材販売」事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいため記載を省略しております。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	48円00銭	63円39銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	571	755
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	571	755
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,914	11,914

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第4期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)中間配当について、平成24年11月5日開催の取締役会において、平成24年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	35百万円
1株当たりの金額	3円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成24年11月30日



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月12日

ジューテックホールディングス株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 井上 東 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 杉山 正樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているジューテックホールディングス株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ジューテックホールディングス株式会社及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。